

教·与·爱·活·动·丛·书

儿童发展学的研究

◎中日育儿研究会
◎日中育儿研究会
◎中国关心下一代工作委员会
专家委员会 编



科学技术文献出版社

“教与爱”活动丛书

儿童发展学的研究

中国关心下一代工作委员会专家委员会
日 中 育 儿 研 究 会 编
中 日 育 儿 研 究 会

科学技术文献出版社

(京)新登字 130 号

内 容 简 介

本书系“教与爱”活动丛书之一,由中国和日本两国专家学者研究中日两国儿童发展的论文汇编而成。书中所载论文从不同角度反映了中国和日本爱护与教育儿童事业的现状,记载了中日两国学者交流儿童发展工作的收获及其丰硕成果。全书收集论文共 25 篇,分别论述了儿童发展的综合研究,幼儿心灵的观察,爱婴医院与儿童发展,才能教育,家庭环境对儿童发展的影响,CDCC 婴幼儿智能发育量表在儿童发展中的作用,弱智儿童的发展与优生、优育、优教,青春少年的自我保护,以及中国儿童发展学的理论框架与研究方法等问题。论文都具有多学科和理论联系实际的特点,可操作性强,对我国儿童发展事业能起很好的指导作用。

本书可供广大家庭以及关心儿童发展成长的社会工作者和研究人员参考。

图书在版编目(CIP)数据

儿童发展学的研究/中国关心下一代工作委员会专家
委员会等编.-北京:科学技术文献出版社,1996.5
(“教与爱”活动丛书)

ISBN 7-5023-2772-X

I. 儿… II. 中… III. 儿童教育-研究-文集 IV. G61

中国版本图书馆 CIP 数据核字(96)第 07718 号

科学技术文献出版社出版

(北京复兴路 15 号 邮政编码 100038)

北京市桦星电脑技术应用部排版

北京市通县鑫欣印刷厂印刷

新华书店北京发行所发行

1996 年 5 月第 1 版 1996 年 5 月第 1 次印刷

850×1168 毫米 32 开本 3 插页 10.75 印张 268 千字

印数:1—2000 册

定价:20.00 元

教育我們的子子孫孫

平友好共獻愛心

一九九六年春於北京符浩







1995年10月10日 中国北京

1995年10月10日 中国北京



95·中日儿童教与交流活动大型文艺演出
1995年5月 于北京世纪剧院



编委会暨翻译人员名单

主 编：中国关心下一代工作委员会专家委员会/日中
育儿研究会/中日育儿研究会

编 委：严仁英、伍蓓秋、籍孝诚、茅于燕、
王如文、刘媛华

中日文审校：张碧清、顾振中

中日文翻译：张碧清、周季华、乔 杰、王保祥、
蒋文明、杜 勤、孔 怡、王 伟

前 言

经过中日专家们的努力，“教与爱”活动丛书——《儿童发展学的研究》一书出版了。它反映了中国和日本爱护和教育儿童事业状况，记载了中、日两国交流儿童发展工作的收获及其丰硕成果。中国有 3.5 亿少年儿童，每年还以 1400 万左右的数额递增，这支庞大的儿童大军将是中国 21 世纪建设国家的主要力量。培养和教育这一代是我们重大的社会义务和责任。

人类是不断发展的，社会的经济在发展，儿童工作也应该具有发展的观点。当今世界，在儿童发展事业的研究方面有很大的进展。中外专家们认为，儿童发展既受到内在，也受到外界因素的影响。儿童作为一个整体，其生理、心理、感情……的发展皆是互相影响，互相促进的。中国改革开放 16 年来，儿童发展事业由于我国政府的关怀和支持，学习借鉴国外先进经验，结合我国的实际，取得了很大的成就。联合国儿童基金会驻华办事处前代表泰勒博士曾指出：中国儿童发展事业有个特殊的有利条件，即它有能力把不同学科的专家组织在一起，从各个方面，各个角度深入研究中国儿童发展的问题，包括自然科学和社会科学方面的众多学科。目前，我国已有了一支一流的热爱和研究儿童发展事业

的各科专业队伍、机制和网络。“江山如画，一时多少豪杰。”这是中国儿童发展事业的可靠保证。

日本著名爱育儿童保健研究所随着日本经济、社会的发展，对儿童身心两方面反映出来的敏感问题，及时加以研究、发展，从原来单一学科的研究和医疗卫生保健，逐步形成多学科、跨学科的合作研究，成为现代化社会发展条件下儿童保健工作的方向。

在美国和加拿大等国家的大学里，医学、护理、心理和教育等许多学科，都开设儿童发展课程，儿童机构的工作人员都要加强对“儿童发展学”的学习。

健康的概念已包括多种含义，它由单纯的“身体健康”发展为“身心健康”。因此“健康”不仅是纯医学的问题，也包括社会行为问题。当代的儿童发展理论是整体发展观，强调个体发展与家庭、社区、社会环境的交互作用，儿童发展的整体观非常重要。所以从思维的角度看，它是立体的，不是平面的。随着国家经济的发展，培育健康儿童的要求、标准和方法等也在不断变化和提高。

1995年中日两国育儿研究会“教与爱”活动所举办的“儿童发展学研讨会”，60多位中日专家、学者欢聚一堂，大家从不同角度论述了儿童的发展。与会者认为论文都具有多学科和理论联系实践的特点，在当代科学既高度分化又高度综合，飞速发展的今天，把教育与抚爱溶和在一起为儿童创造优良的环境，对我国儿童发展事业有它现实和长远的意义。

希望这套丛书的出版，在缅怀我们过去足迹的同时，能

对我国儿童发展学的研究有所促进。作为一条道路或一座桥,通过各项专业学科,把中国和世界的儿童发展的专家们紧密联系起来。展望未来,任重而道远,长江滚滚三千里,千里之行,始于足下。我国儿童发展事业正方兴未艾。数风流人物,还看今朝!

中国关心下一代工作委员会专家委员会
中日育儿研究会
主 任 严仁英
常务副主任 伍蓓秋

1996年2月

前　　書

中日両国の専門家達の努力によって「教と愛」活動のシリーズとしての「児童発展学の研究」という本が出版された。この本は、中日両国が児童教育事業を重視する状況を反映し、また、中日両国が児童発展活動を交流する収獲とその豊かな成果を記録してある。中国には、35億の少年児童があり、また、毎年1400万位のスピードで遡増しており、この巨大な児童大部隊は、21世紀の中国の国家建設の主力軍になるだろう。この世代を育成、教育することは、われわれの肝心な社会義務と責任である。

人間は、たえず発展するもので、社会の経済も発展しているので、児童活動も発展の観点を持つべきである。今の世界では、児童発展についての事業の研究も、大きな進展がみられている。内外の専門家は、児童発展の事業が内在の要素ばかりでなく、外部要素の影響をも受けていると思うのです。児童は一つの統一体として、その生理、心理と感情などの発展が、皆互いに影響しあい、互いに促進しあうものである。中国改革開放の16年以来、わが国政府の関心と支持を得て、外国の先進の経験を参考し、わが国の

実際に結付いたので、児童発展の事業がすばらしい成果を収めている。テーラ博士国連児童基金会中国駐在事務所元代表は、中国児童発展の事業が一つの特殊な有利条件を持ち、即ち、異なる学科の専門家を集めて、いろいろな方面と視角から、突。こんで中国児童の発展問題（自然科学と社会科学方面の数多くの学科の問題）を研究することができる」と指摘したことがある。目下、すでにわが国は、児童発展の事業を熱愛し、それを研究する各科の一流の専門隊列、メカニズムとネットワークを持っている。「山河は絵の如く、豪傑が数多し。」これは、中国の児童発展の事業の確かな保証になるだろう。

日本の有名な愛育児童保健研究所は、日本経済、社会の発展につれて、敏感な児童身心の両面から反映しだした問題を時を移さず研究し、発展し、元の単一学科の研究と医療衛生保健から、次第に多学科、学科に跨る協力研究を形成し、総合的児童保健、現代化の社会発展の条件の下の子童保健活動の方向へ発展している。

米国とカナダ等の国家の大学は、その医学、看護、心理と教育等数多くの学科の中において、いずれも児童発展の課程を設け、児童機関の従業員は、皆「児童発展学」の勉強を強化しなければならない。

健康の概念には、種々の中味があり、それは、単純の「身体健康」から「身心健康」へ発展している。その故に、「健康」は、もう純医学の問題ではなく、社会の行為

問題をも含むものである。当今の児童発展の理論は、全体発展観であり、個体の発展と家庭、社区、社会環境との相互作用を強調するものですから、児童発展の全体観はきわめて重要である。思考の視角から見れば、それは立体的であり、平面的ではない。国家経済の発展にしたがって、健康児童を育成する要求の標準と方法等も、たえず変化、向上している。

1995年、中日両国の育児研究会は、「教と愛」の活動に基づいて、「児童発展学シンポジウム」を開催し、60余名の中日両国の専門家と学者が一堂に集まって、いろいろの立場から児童の発展を論述した。与会者は、提出された論文が多学科、理論と実践と結付きの特点を持ち、当代の科学は高度分化であれば、高度綜合でもあり、科学は飛躍的に発展している今日では、教と愛を結付けて、児童のために良好な環境を作出すことは、わが国の児童発展の事業にとっては、現実と深遠な意義があると思うのである。

このシリーズの出版は、私共のいままでの足跡を顧みて、わが国の児童発展学の研究の促進にプラスになるよう期待している。各科目の専門学科の交流を一本の道或いは一本の橋として、中国と世界児童発展の専門家を緊密に結集するよう願っている、未来を展望すれば、任重くして道遠し、長江三千里こんこんと流れて、千里の行き足下からという感知である。わが国の児童発展の事業は、ま

さに発展の途上にある。風流人物を数えれば、なお今朝を見よ。

中国次世代關心活動委員會專門家委員會

中 日 育 児 研 究 会

主 任 嚴仁英

常務副主任 伍蓓秋

1996 年 2 月

序 文

日中两国作为亚洲的一员，特别是作为“同文”的国家，首先为亚洲的人民，并进一步为全球的人们的幸福，从心底里去热爱和平，并正在努力沟通相互间的温暖心灵。

我相信日中育儿学的交流将成为它的基石。

愿日中两国育儿学的交流不断继续，深入发展。

日中育儿研究会会长

内藤寿七郎